

■令和4年第4回定例会(9月5日～28日) 本会議で審議された議案とその結果

議案番号	付議事件名	議決結果
認第 1号	令和3年度美濃市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 2号	令和3年度美濃市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 3号	令和3年度美濃市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 4号	令和3年度美濃市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 5号	令和3年度美濃市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 6号	令和3年度美濃市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 7号	令和3年度美濃市病院事業会計決算の認定について	認定
認第 8号	令和3年度美濃市上水道事業会計決算の認定について	認定
議第44号	令和4年度美濃市一般会計補正予算(第6号)	可決
議第45号	令和4年度美濃市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第46号	令和4年度美濃市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第47号	令和4年度美濃市下水道特別会計補正予算(第1号)	可決
議第48号	令和4年度美濃市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第49号	美濃市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議第50号	美濃市民の歯と口腔の健康づくり推進条例について	可決
議第51号	令和3年度美濃市上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第52号	美濃市教育委員会委員の任命について	同意
議第53号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
請第 1号	消費税インボイス制度実施延期を求める請願	不採択

民生教育常任委員会行政視察(10月26日から28日)

福岡県北九州市、同宗像市を訪問し、行政視察を行いました。視察内容は、以下のとおりです。

- 北九州市
「介護ロボット等を活用した先進的介護事業」
- ・事業を始めるに至った経緯と事業の概要について
- ・介護ロボット等の導入効果について
- ・課題と今後の展開について



- 宗像市
「宗像市子ども基本条例」
- ・施行されるまでに至った経緯と課題について
- ・条例に基づくこれまでの取組と本年度の取組について
- ・啓発用パンフレットの活用について
- ・学校教育との連携について
- ・子ども権利相談室「ハッピークローバー」の取組について
- ・条例制定による効果について
- ・課題と今後の展開について

■視察を終えて
今回の視察において、どちらの事例もこれからの美濃市に必要なと考えられるので、今後も調査研究を続けていく必要性を感じた。

令和4年第5回定例会の日程

※令和4年度補正予算、条例の制改定等について審議します。

- ・12月 5日(月)10:00 本会議
- ・12月 5日(月)10:00 総務産業建設常任委員会
- ・12月15日(木)10:00 本会議(質疑・一般質問)
- ・12月15日(木)10:00 民生教育常任委員会
- ・12月16日(金)10:00 本会議(一般質問)
- ・12月22日(木)10:00 本会議

★編集後記★

今議会では、服部議員の一般質問が午前と午後に分かれたため、Youtube録画が2画面になりました。そのため、服部議員の質問欄にはQRコードが2つ貼り付けてあります。

誌面では、議員の研修の様子や各常任委員会が10月に実施した行政視察の報告、行政視察の受入れ状況などについて、その概要を掲載しています。

「みの市議会だより」は、市民の皆さんに、より議会を知っていただくことを目的に、議員が編集して、発行していますが、A3用紙二つ折りの4ページの紙面では、文字数の制限がかかり、多くの情報を詳しくお知らせすることができませんので、「議会の活動状況をどのようにして発信するのか」これからの大きな課題としています。

連絡先 0575-33-1122(内410・411) 市議会だより編集委員会

【編集委員：須田盛也(委員長) 辻文男(副委員長) 豊澤正信 服部光由】

みの市議会だより

【No. 10】
美濃市議会
令和4年12月発行



令和4年第4回(9月)美濃市議会定例会について

会期を9月5日から9月28日までの24日間として開催しました。決算認定8件を認定、補正予算5件、条例制定1件、条例改正1件、その他1件を可決、人事案件2件を同意しました。請願1件は、不採択となりました。

- 9月 5日(月)・・・本会議(議案説明等)
- 15日(木)・・・本会議(代表質問1名)
(一般質問6名)
- 20日(火)・・・総務産業建設常任委員会
- 21日(水)・・・総務産業建設常任委員会
- 22日(木)・・・民生教育常任委員会
- 26日(月)・・・民生教育常任委員会
- 28日(水)・・・本会議(採決)

中濃十市議員研修会に参加

令和4年度中濃十市議会議長会議員研修会が11月9日(水)に本業市民文化ホールで開催され、美濃市議会からは12名の議員が参加しました。

初めに本業市教育長より本業市の「数学によるまちづくり」の経緯、概要、取組、秋山先生との出会い等について説明を受けました。

その後、東京理科大学名誉教授・本業市数学のまちづくり学術アドバイザーである秋山仁氏を講師に「数学的思考で不可能を可能へ」についての講演を拝聴しました。

講演では、近未来のAI社会を“生き生きと生きていくための力”＝“論理的思考力”を根幹とする科学リテラシーの育成に力を入れようという、時の流れを見越した教育が大切である。STEM(科学、技術、工学、数学)さらに芸術を加えた分野を自在に使いこなせるスキルを持った人材育成がこれからの課題である等を拝聴し、『ひとつづくりがまちづくりになる』ことを学びました。



① 山口育男 議員 会派代表質問 (美濃市議会市政クラブ)



■令和3年度決算と主要事業の成果について
問：令和3年度決算と今後の財政運営はどのようなか。

答：一般会計の決算額が歳入・歳出ともに3年連続で100億円を超える規模となった令和3年度は、第6次総合計画の初年度として、大きく4つの基本方針により事業を進め、概ね当初の目的を果たせたものと評価している。

財政運営に影響する公共施設の老朽化への対応については、基金を積み立てるなどし、将来への負担を抑えながら、計画的な整備に努めており、その結果、財政調整基金の現在高は過去最高額となったほか、財政健全化判断比率のいずれも改善し、過去10年で最も健全な値となった。

今後は、健康文化交流センターや学校給食センター建設などにかかる市債の償還が始まることから、実質公債費比率などの各指標は上昇することが想定されるものの、交付税措置のある市債を活用しているほか、減債基金や公共施設整備改修等基金への積み増しを行っているため、十分対応できると考えている。

今後も、市民に過度の負担を残さないよう、健全な財政運営を推進していく。

○発行：美濃市議会

○編集：市議会だより編集委員会

9月議会 各議員による一般質問

② 豊澤正信 議員 (美濃市議会市政クラブ)



■美濃市の防災について

問：現在の防災備蓄品等の状況はどのようなか。
答：災害時用の物資等は、防災・中央コミュニティセンター、道の駅「美濃にわか茶屋」、市内各地域ふれあいセンターの計8か所に備蓄している。

市では、岐阜県が平成25年に発表した「南海トラフの巨大地震被害想定調査」で想定される美濃市の避難者数1,991人を基準として、非常食についてはその3日分にあたる約18,000食を必要な備蓄量と考えている。保管場所等の問題から、全てを市で備蓄することは困難なため、市民の皆さんによる備蓄や、国・県からの応援物資、協定事業者からの流通備蓄を考慮し、必要量の半分程度のアルファ米7,550食分を備蓄している。ほかに毛布541枚、粉ミルク1,400回分、飲料水1,700リットル、簡易トイレ34セット、生理用品2,800個、アルミ製ブランケット1,000枚、エアーマット300個、簡易ベッド44台、大型扇風機・冷風扇各4機、投光器9基、発電機12台、土嚢袋29,300枚や感染症対策として、簡易パーテーション、段ボール間仕切り等も備蓄している。

④ 服部光由 議員 (日本共産党美濃市議会議員)



■美濃いきいき保険・給食センターについて

問：「美濃いきいき保険」の市民活動災害補償制度の免責額を団体等が負担しているが、市として補填等の補助は考えられないか。

答：免責額の5千円は過失分として自己負担と考えているので市からの補填は考えていない。

問：新学校給食センターの状況はどのようなか。
また、アレルギー対応食への取組はどこまで進んだか。

答：9月1日の稼働から2週間が経過したが、大きな問題もなく給食の提供ができています。

アレルギー対応食は準備が滞っていたが、9月30日から卵の除去食を提供する。

■インボイス制度について

問：インボイス制度導入による市内の事業者への影響（件数、金額）はどの程度か。

また、美濃市として制度導入による新たな負担に対して何らかの対策を行うのか。

答：概ね400事業者ほどが新たに課税事業者となる見込みであり、新たに納税される消費税額は6,160万円ほどと推察される。

国において経理事務の負担について支援策が検討されているが、市としても何らかの対応ができないか検討していきたいと考えている。

③ 松嶋哲也 議員 (美濃市議会市政クラブ)



■自然災害からの防災減災対策の充実について

問：避難行動要支援者名簿の取組状況とその活用及び個別避難計画の取組状況はどのようなか。

答：市では、民生委員・児童委員の方々にご協力をいただき、現在1,449名の方の避難行動要支援者名簿を作成している。個別避難計画の取組では、水害や土砂災害など地域ごとに見込まれるハザードの状況や要支援者本人の状況を踏まえ、優先度の高い方から作成に取り組みつつ、地域の皆様と十分に認識を共有しながら、地域の中で避難が円滑かつ確実に実行されるよう、地域の実情に応じて令和5年度中の作成を目指して取り組んでいく。

■長良川遊水地計画（横越地区）について

問：進捗状況と今後の予定はどのようなか。

答：これまで、事業予定箇所の測量、地質調査、概略設計や、長良川左岸堤防の点検などを実施し、現在は、長良川右岸側の市道の拡幅検討や、左岸道塚堤防の詳細設計などを実施している。今後の予定としては、木曾川上流河川事務所と連携し、説明会を開催するほか、木曾川上流河川事務所のウェブサイトで「遊水地事業」を紹介するページを立ち上げるなど、引き続き事業内容を説明していく。

⑤ 佐藤好夫 議員 (しんし)



■旧牧谷街道の道路舗装について

問：道路舗装の計画はどのようなか。

答：カラー舗装施工後10年以上経過しており劣化が著しく、また、沿線自治会からも舗装修繕の要望が出ていることから、新たに耐久性が高く安価な工法で施工できるように検討を進めていく。

■市関連施設の禁煙状況について

問：市役所本庁舎をはじめ、小中学校・病院などの建物や敷地内の禁煙状況はどのようなか。

また、伝統的建造物群保存地区の路上禁煙、喫煙所利用状況、公園・広場など公共の場における禁煙状況はどのようなか。

答：小中学校は平成15年8月、病院は平成18年4月、本庁舎・分庁舎は令和元年7月から敷地内禁煙とし、本庁舎・分庁舎には特例の喫煙所を設置している。伝統的建造物群保存地区は平成23年3月に条例を制定し、市営駐車場に設けた喫煙所以外を路上喫煙禁止区域に指定している。喫煙所に設置している灰皿は常に吸い殻が入っており、その量は設置当時から変わっていない。また、公園や広場には喫煙自粛の看板を設置し、協力を依頼している。

QRコードの接続先は、YouTubeの動画配信です。

⑥ 岡部忠敏 議員 (公明党美濃市議員)



■補聴器購入の助成について

問：加齢に伴う難聴者に対する介護予防の取組として、補聴器購入の助成ができるか。

答：ご指摘のとおり、加齢性の難聴が進行することで、会話や社会的交流が減少し、うつや無気力、認知機能の低下につながるなどの指摘がされているところではある。

補聴器を使用することで、一部の認知機能低下を防ぎ、認知症予防に一定程度の効果が期待できるとも言われているが、軽度・中等度の加齢性難聴に対する補聴器購入には公的助成がなく、介護保険制度においても福祉用具の対象にはなっていない。

現行制度では、身体障害者手帳の交付を受けた方を対象にした補装具費支給制度のみの運用となっているが、健康寿命の延伸につながる効果があると言われている加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成については、介護予防や認知症予防につながる可能性を含め、効果的な支援と助成のあり方を検討してまいりたいと考えている。

⑦ 永田知子 議員 (明るい美濃)



■旧美濃北中学校跡地の除草管理について

問：除草作業の委託契約の詳細と進捗状況は。

答：NPO法人うだつアップクラブへ年間人件費19万円で委託。グラウンドと南側法面を除草。委託先が草の繁茂状況を見て、年3回程度行う。今年度は4月に除草剤散布、以後6月に2回草刈。農薬取締法に登録された除草剤(マイター液剤)を希釈し散布した。

問：除草剤を散布する場合、住民への周知や作業後の経過観察はどのようなか。

答：環境省のマニュアルに基づき散布している。住民への周知は行っていない。今後は回覧板等で散布の予定を周知し、歩行者に声かけをして実施する。その後は定期的に状況確認をして適切な除草管理に心がける。

■留守家庭児童教室の現状と対策について

問：児童の不安感軽減の配慮の必要性は。

答：制約が続く生活の下、学校と指導員が情報共有し、安心できる場を提供していく。

問：指導員が児童に向き合う時間を確保するための環境改善はできないか。

答：今の人員で時間は確保できている。改善策としての電子機器導入は指導員の負担も予想され、現場の声も聞いて検討していく。

総務産業建設常任委員会行政視察

(10月11日から13日)

長野県伊那市、同小布施町、同飯山市を訪問し、行政視察を行いました。

視察内容は、以下のとおりです。

■伊那市

- 「移住定住プログラムによるまちづくり」
- ・地元不動産組合と連携した空き家バンクの開設について
- ・短期及び中期の移住体験施設の開設について
- ・18名の地域おこし協力隊の交流活動及び隊員の定住への結びつけについて

■小布施町

- 「市民協働と交流施策によるまちづくり」
- ・観光イベントとしてのマラソン大会の開催について

- ・北斎館を中心とした町並みの修景について
- ・観光客以上、住民未達の地域に関わる人を増やすバーチャル町民会議等の実施について

■飯山市

- 「移住定住促進の取組」
- ・積極的な空家の掘り起こしによる空き家活用支援について
- ・移住者専用の住宅の設置について
- ・都心部での移住セミナーの開催について



行政視察の受入れ状況 (9月以降に美濃市を訪れた団体です)

- | | |
|---|----|
| ①官民連携による「まちなか古民家」活用事業について
兵庫県たつの市議会 会派「清風クラブ」 | 4人 |
| ②市内移動の公共交通機関「のり愛くん」について
大阪府柏原市議会 会派「自由民主党・無所属の会」 | 5人 |
| ③伝統的建造物群の保存について・美濃市文化会館について
佐賀県唐津市議会 会派「志政会」 | 6人 |